

令和４年度

年次活動報告会資料
(第１２回 総会資料)

日時：令和４年９月１４日

１５：００～１７：００

場所：ホテルモントレ京都

一般社団法人 コンクリートメンテナンス協会

次 第

議事

第 1 号議案 令和 3 年度 事業報告承認の件

第 2 号議案 令和 3 年度 収支決算書の承認の件

第 3 号議案 令和 4 年度事業計画 承認の件

第 4 号議案 令和 4 年度予算書 承認の件

令和 3 年度事業報告

1. フォーラムの開催

テーマを「コンクリート構造物の健康寿命を考える」と題して、全国 20 箇所でコンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラムを予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により開催を中止しました。

その代わりとして動画配信によるオンラインフォーラムを開催。

31 の講演動画を配信し、視聴数は約 36,000 回となりました。

講演内容については、産学官から多彩な講師陣を招き、メンテナンスに関わるあらゆる技術を聞ける中立性をもったものになるよう配慮いたしました。

その結果、全国各地からコンクリート補修に関する問い合わせや見積り依頼が多数寄せられ、それに伴い当協会が推奨するリハビリ工法も多くの補修工事で採用となりました。

令和3年度オンラインフォーラム 開催状況

合計36,149人 合計16,685人

No.	講師	演題	講演時間	2022.6.4時点動画再生数	うちCPD申込者数
1	十河 茂幸 先生（近未来コンクリート研究会代表）	小規模橋梁を対象とした点検要領とその事例	60分	3662回	1348人
2	〃	亜硝酸リチウムによる補修の設計・施工指針（案）の概説	60分	2136回	1006人
3	江良 和徳 氏（コンクリートメンテナンス協会 技術委員長）	維持管理シナリオを考慮した補修工法選定の考え方～予防保全と事後保全～	60分	2079回	941人
4	〃	亜硝酸リチウムを用いたコンクリート補修 一問一答～設計編～	60分	1543回	743人
5	〃	亜硝酸リチウムを用いたコンクリート補修 一問一答～施工編～	60分	1070回	547人
6	宮川 豊章 先生（京都大学 名誉教授）	コンクリート構造物の健康寿命を確保するために	60分	3855回	1172人
7	鎌田 敏郎 先生（大阪大学 大学院工学研究科 地球総合工学専攻 教授）	見えないものは非破壊で診る	60分	2299回	1035人
8	濱崎 仁 先生（芝浦工業大学 建築学部 教授）	歴史的構造物の保存・修復 ～鉄筋コンクリート造の現状と課題～	60分	1370回	702人
9	竹田 宣典 先生（広島工業大学 工学部 環境土木工学科 教授）	「予防保全によるコンクリート構造物の健康寿命の延長」	60分	1624回	763人
10	一宮 一夫 先生（大分工業高等専門学校 都市・環境工学科 教授）	コンクリート構造物の高耐久化を目的とした新しい無機系補修材料の開発	60分	1363回	587人
11	松田 浩 先生（長崎大学 工学研究科 システム科学部門 教授）	インフラをみんなで守る「道守」の制度とその実際	60分	1248回	706人
12	今本 啓一 先生（東京理科大学 工学部 建築学科 教授）	「水の制御に着目した歴史的鉄筋コンクリート造建築物の保存」	60分	903回	434人
13	久保 善司 先生（金沢大学 理工研究域地球社会基盤学系 教授）	コンクリート構造物のリハビリテーション再考	60分	1093回	527人
15	富山 潤 先生（琉球大学 工学部 工学科社会基盤デザインコース 教授）	沖縄県のコンクリート構造物の劣化の特徴と耐久設計の変遷	60分	688回	365人
16	黒田 保 先生（鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科 教授）	ロボット技術を活用した橋梁点検の効率化・高度化とその取り組み事例	60分	926回	493人
17	井上 真澄 先生（北見工業大学 工学部 教授）	亜硝酸塩を用いたセメント系材料の諸性状	60分	726回	401人
19	中本 健二 氏（中国電力株式会社 電源事業本部 石炭灰有効活用グループ マネージャー）	フライアッシュによるコンクリート構造物の長寿命化	30分	840回	445人
20	真鍋 英規 氏（株式会社CORE技術研究所 代表取締役社長）	「PC構造物の有効な維持管理」	60分	1031回	493人
21	野村 一貴 氏（ダイクレ興産株式会社）	「支承リバイバルシステム ～金属溶射と常温亜鉛めっき塗装による既設橋梁支承の長寿命化工法～」	30分	729回	376人
22	佐藤 亘 氏（一般社団法人STTG工法協会 理事）	「STTG工法の概要、各種試験結果、施工実績他」	20分	665回	333人
23	中丸 大輔 氏（日本ペイント株式会社）	コンクリート表面被覆材の機能と施工事例	60分	680回	488人
24	一般社団法人セメント協会	セメント系補修材料の使い方	60分	1107回	501人
25	石田 知子 氏（株式会社 大林組 技術研究所 生産技術研究部 課長）	「PVB樹脂と珪砂を用いた高耐久防食鉄筋」	30分	583回	334人
26	三原 孝文 氏（極東興和株式会社 営業本部 技術企画部開発課）	K-PREX工法～既設コンクリート構造物へのプレストレス導入技術～	30分	577回	323人
27	稲富 芳寿 氏（極東興和株式会社 営業本部 補修部 補修営業課）	マイクロバイル工法～厳しい現場条件に対応した杭基礎技術～	30分	652回	342人
28	ダイキ工業株式会社、エス・エルテック株式会社	「亜硝酸塩の有効的な工法の紹介」	30分	659回	288人
29	田村 悟士 氏（株式会社アイゾールテクニカ 専務取締役）	「コンクリート舗装を敷設した小規模橋梁に対する床版防水工法の開発」	30分	713回	345人
30	電気化学的防食工法研究会（C P 工法研究会）、日本エルガード協会	電気防食技術と施工事例の紹介	60分	825回	359人
31	福田 杉夫 氏（田島ルーフィング株式会社）	亜硝酸リチウム含有ポリマーセメント表面被覆工法による中性化抑制および塩害抑制の評価に関する研究	60分	503回	288人

2. リハビリ工法施工技術者研修会の開催

毎年コンクリート補修現場でのリハビリシリンダー工法、リハビリカプセル工法、プロコンガードシステムの品質維持のため、統一的な認定基準に従い全国的な技術者養成体制作りをすすめる、コンクリート補修技術の向上に寄与することを目的に、リハビリ工法施工技術者の認定研修会を実施していましたが新型コロナウイルスの影響により中止。遠隔講習で開催しました。遠隔での参加者数は117名と、会場参加型の約2倍の参加者数となりました。

- ・開催日時：令和3年6月より遠隔講習を開催
- ・講習内容：コンクリート補修に関する基礎講座の動画 DVD・資料
亜硝酸リチウムを使用したひび割れ注入工法及び内部圧入工法の実技、表面含浸工の実技 動画 DVD・資料
- ・参加者：117名

リハビリ工法施工技術者 認定試験

実施日：2020年4月24日
試験時間：15分

会社名：_____
氏名：_____

※以下の問いに○か×で回答してください。 問題正解で20問あります。

【問1】 未処理した補修物が年々増加しているだけでなく、処置や中絶、ASR などにより劣化や腐蝕が加速して発生している。これらの補修管理、補修対象の選定は考慮すべき事項である。 ()

【問2】 健全なコンクリート構造物の内部にある鉄筋は、有害な塩素イオンが侵入することによって腐食が促進される。したがって、この中継点では鉄筋の塩素イオン濃度を測定し、アルカリ性(pH=13以上)の環境下では腐食され、使用可能な状態となる。 ()

【問3】 塩素イオンは中性化による劣化は、鉄筋コンクリート構造物だけでなく健全なコンクリート構造物でも生じる。したがって、塩素補修や中性化補修は鉄筋コンクリート、健全なコンクリートともに広く適用されている。 ()

【問4】 アルカリシリカ反応(ASR)とは、使用材料として反応性シリカが使用されたために生じる劣化であり、反応性シリカは生成したアルカリシリカゲルの吸水膨張によってコンクリート内部に多数のひび割れが生じることが多い。 ()



試験問題



配布資料

講演動画



実技動画

3. JCI コンクリートテクノプラザ 2021 への出展

令和3年7月7日～9日に開催。新型コロナウイルスの影響で会場開催ではなくオンラインでのバーチャル空間で開催となりました。コンクリートメンテナンス協会のオンラインブースには約400名の来場がありました。



参加要綱



コンクリートメンテナンス協会のブース

4. 年次活動報告会の開催

社員総会書面決議・書面での議案回答を行いました。年次活動報告会で会員の皆様にお知らせする予定でしたが新型コロナウイルスの影響で中止となり書面にて報告させていただきました。

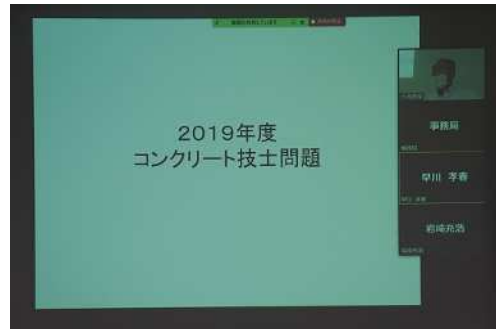
令和3年度 年次活動報告会資料 (第11回定時総会資料) 一般社団法人 コンクリートメンテナンス協会	次 第 議事 第1号議案 令和2年度 事業報告承認の件 第2号議案 令和2年度 収支決算書の承認の件 第3号議案 令和3年度事業計画 承認の件 第4号議案 令和3年度予算書 承認の件	2020年10月19日 補修・補強チームを配属へ 7月からCPD取得も コンクリートメンテプラザ2021 2020年10月19日 新築・補修・補強チームを配属へ 7月からCPD取得も コンクリートメンテプラザ2021	2020年10月19日 新築・補修・補強チームを配属へ 7月からCPD取得も コンクリートメンテプラザ2021
---	---	--	---

総会資料

活動記事

5. コンクリート技士・診断士受験指南講習会（十河塾）の開催

- ・コンクリート技士（主任技士）合格指南講座（広島会場）
十河顧問指導の下、講義や模試などを行うコンクリート技士（主任技士）の合格指南講座を開設しました。
全5回の講習会で7名が受講。
うち3名が合格し、高い合格率となりました。（合格率43%）



- ・コンクリート診断士合格指南講座
十河顧問指導の下、講義や模試、記述式問題の添削などを行うコンクリート診断士の合格指南講座を開設しました。全7回の講習会で、今年は総勢24名が受講。
今年度受講生が4名、昨年度受講生が2名合格しこちらも高い合格率となりました。

コンクリート診断士合格指南講座 2021
～ 十河塾 ～

平素はJCMAの運営にはご理解を頂き有難う御座います。
さて、今年でも回目となります「コンクリート診断士合格指南講座 十河塾」を今年も開催いたします。この資格の取得は個人の知識と技術者としての社会的認知度の向上になりますが、所属企業にとりましても地位の向上につながります。
この講習を受講すれば合格するものではありません。かなりの時間と努力が必要です。ゆえに、合格の意味は高いものとなります。今回は合格する意欲が高い人を対象といたします。合格率100%を目指して受講いたします。下記の通り開催いたしますので、やる気のある方お申し込みください。

記

受講費用：50,000円（テキストを含みます）
講習場所：コンクリートメンテナンス協会 会議室
（広島県広島市中区東千田町2-3-26 福徳ビル3F）
現地参加とオンライン参加、どちらも可能です。
※現地参加の場合は新型コロナウイルス感染防止により席の間隔を空けてご用意しております。また、出席の履歴システムの運用をお願いします。
※オンライン参加の方には開催日にメールをお送りします。
メールを受け取り、アクセスとオンラインで講座に参加が可能です。
インターネット環境が必要ですので、オンライン参加の方にはさらに詳細な手順を随時ご案内させていただきます。
（オンライン参加では会場の様子や講義内容がリアルタイムで映し出され、質問等も可能です。）
※講座をご欠席された方には後日講座で使用した資料や動画を送ります。

電話番号：082-541-0133



6. 会員研修会の実施

2021年11月6日、2021年11月13日に会員を対象としたCPDS オンラインセミナーを開催しました。発注者及び設計者に対しコンクリートメンテナンス協会の補修技術説明および設計協力が出来るようになることを目的とした講習会（CPDS 単位は合計14単位）で、延べ147名の方にご参加いただきました。



配信状況



参加状況

7. 技術展示会への出展

2021年6月16日、17日 「SAGA 建設技術フェア 2021」

毎年佐賀県で開催される SAGA 建設技術フェアに JCMA 協会員「株式会社 藤崎建設」様と出展予定でしたが、中止となりました。2022年は会場参加型での開催となります。

『SAGA 建設技術フェア 2021』

建設技術が創る安全・安心なまちづくり

出展募集要領

- 開催日時：令和3年6月16日（水）10:00～16:00
令和3年6月17日（木）10:00～16:00
- 開催場所：ガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピア
〒840-0850 佐賀市新栄3丁目7番8号

出展申込期限：令和3年2月26日（金）必着

主催：公益財団法人佐賀県建設技術支援機構

出展要領

令和3年4月1日

各位

公益財団法人佐賀県建設技術支援機構
理事長 西村 平
(公印省略)

『SAGA 建設技術フェア 2021』の開催中止のお知らせ

拝啓 春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より当機構の施設運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月16日（水）と17日（木）に開催を予定しておりました「SAGA 建設技術フェア 2021」につきましては、国内の新型コロナウイルスの感染状況の悪化が懸念され、近畿圏の感染拡大やワクチン接種ペースが見通せない状況に鑑み、中止させていただくことになりました。

なお、ブース出展にお申込みいただいた企業・団体の技術や製品等に關する情報につきましては、当日、当機構のHPに掲載する予定しておりますのでご覧ください。
皆様にはご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

敬具

【お問い合わせ】
公益財団法人佐賀県建設技術支援機構
技術部 企画管理課 担当：森田川（まれがわ）
〒840-0857 佐賀市橘島町大字八丁3182
TEL 0952-26-1668 FAX 0952-26-1669
e-mail saga-fair@sagacat.or.jp

開催中止のお知らせ

昨年はオンライン形式のみでしたが、2021年度は会場+オンラインのハイブリッド開催となりました。新型コロナウイルスの影響でスタッフは福井県在住の方のみと制限がありましたが、福井県協会員である「日光産業株式会社」様のご協力により無事開催ができました。



開催状況

千葉県松戸市に位置する関東地方整備局 関東技術事務所 建設技術展示館に出展をしました。2020年12月2日から約2年間展示されます。



展示状況

8. 現場見学会の実施

くばが橋 ASR 補修工事 現場見学会

見学内容：亜硝酸リチウム内部圧入工「ASR リチウム工法」における
本加圧注入 作業

日 時：2021 年 11 月 8 日～2021 年 11 月 26 日

場 所：沖縄県島尻郡八重瀬町宜次地内

各位
2021 年 9 月吉日
一般社団法人コンクリートメンテナンス協会
会長 徳納 剛

亜硝酸リチウム内部圧入工「ASR リチウム工法」

現場見学会のご案内

秋分の日、貴社におかれましては益々ご繁栄のこととお喜び申し上げます。
この度、沖縄県八重瀬町の「くばが橋」において、亜硝酸リチウム内部圧入工「ASR リチウム工法」による ASR 補修工事の現場見学会を開催させて頂く運びとなりました。本工法の施工は沖縄県内で初めてとなりますので、ぜひこの機会に多くの皆様方にご見学いただきたく、下記のとおりご案内申し上げます。

【現場見学会案内】

日 時：別紙の開催日一覧表より「日付」「時間帯（午前/午後）」をお選びください。
集合場所：別紙地図に示す現場事務所（直接お越しください）
工 事 名：くばが橋 ASR 補修工事（試験施工）
工事場所：沖縄県島尻郡八重瀬町宜次地内
施 注 者：八重瀬町役場
元請負者：極東興和（株）
見学内容：亜硝酸リチウム内部圧入工「ASR リチウム工法」における本加圧注入作業
所要時間：午前の部、午後の部ともに 2 時間

【見学会タイムスケジュール】

午前の部の場合	午後の部の場合	内容
10:00	14:00	集合（15 分前より受付開始）
10:00～10:45	14:00～14:45	【資料説明】工事概要、工法概要、施工手順等の説明
10:45～11:30	14:45～15:30	【現場見学】亜硝酸リチウム内部圧入工の施工状況見学
11:30～12:00	15:30～16:00	質疑応答、意見交換
12:00	16:00	解散



くばが橋全景



亜硝酸リチウム内部圧入工施工状況（参考写真）

【現場見学会開催日一覧】

月	火	水	木	金
11 月 8 日	11 月 9 日	11 月 10 日	11 月 11 日	11 月 12 日
午前の部	午後の部	午前の部	午後の部	午前の部
○	○	○	○	○
11 月 15 日	11 月 16 日	11 月 17 日	11 月 18 日	11 月 19 日
午前の部	午後の部	午前の部	午後の部	午前の部
○	○	○	○	○
11 月 22 日	11 月 23 日（祝）	11 月 24 日	11 月 25 日	11 月 26 日
午前の部	午後の部	午前の部	午後の部	午前の部
○	○	○	○	○

※見学会内容は全て同一となります。ご都合のよい日時をお選びください。

【工事場所周辺地図と集合場所】



工事場所周辺地図と集合場所

※ 当日はヘルメット・マスクを各自ご持参、ご着用ください。

【現場見学会のお申し込み先】

極東興和（株）沖縄営業所 所長 田原俊彦
（E-mail）co-sahara@kin.co.jp
（携帯）070-3780-2555

以上

案内文

9. 広島県土木協会「土木・建築系職員技術研修」に講師として参加

2021年12月9日に開催された（一社）広島県土木協会主催の尾道市「土木・建築系職員技術研修」に講師として参加。塩害・中性化の測定やシュミットハンマーを使用しての強度測定、RCレーダーによる鉄筋探査などを行い、基調講演を当協会顧問の十河先生が行いました。



10. ホームページの充実

オンラインフォーラムの開催案内や講演資料、各種プレスリリースの内容などを頻繁に掲載・更新しました。

また、工法・材料検索やQ&Aのコーナーも充実させた結果、多くのアクセスがありました。

さらに、施工事例や施工動画をHPに掲載することで、多数の方にリハビリ工法に対する関心を深めていただきました。

1 1. 技術資料の配布・販売

2022年は会場参加型のフォーラムを予定しており、会場で配布・販売するため下記の発刊物の改定準備を行いました。

1. 「コンクリートメンテナンス協会パンフレット」の更新
2. 「A3配布資料」について、NETIS 番号や材料表記を更新
3. 「コンクリート構造物を対象とした亜硝酸リチウムによる
補修の設計・施工指針(案) 第2版」の発刊に向けて画像
の差し替えや文章の訂正
4. カタログ資料の刷新

1 2. 諸官庁・コンサルタントへのPR

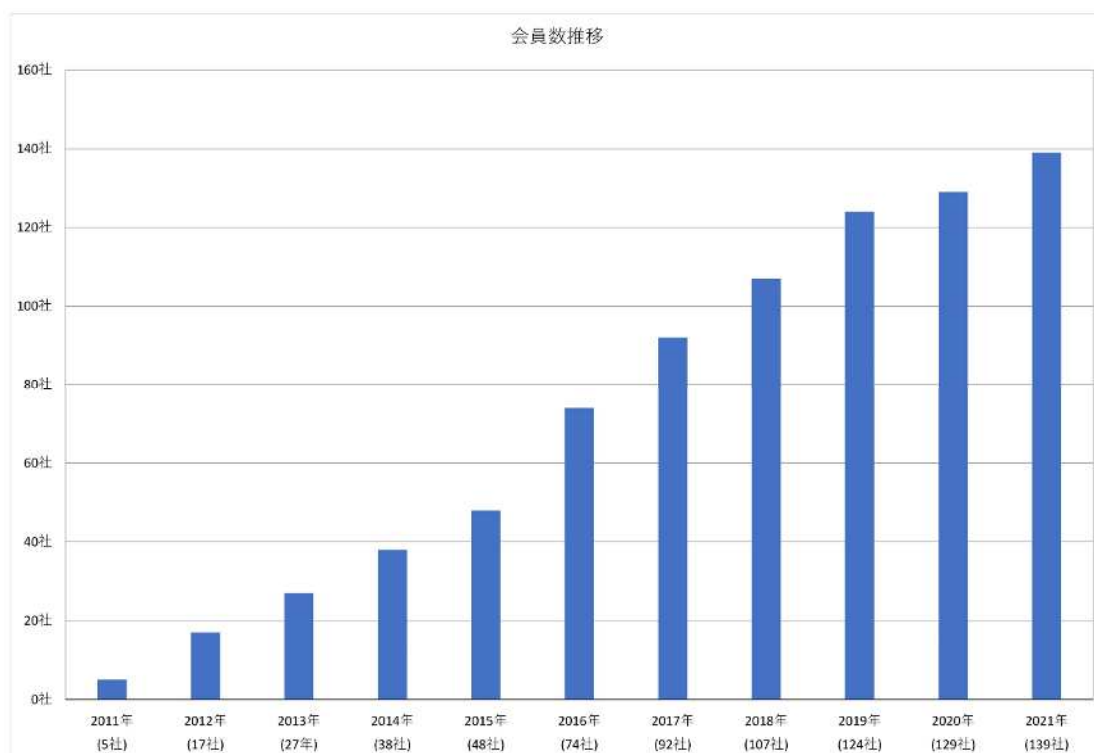
各官公庁やコンサルタントにコンクリート構造物のフォーラムの案内や技術的支援、リハビリ工法の現場見学会を積極的に行うことで補修・補強工事の品質向上に努めました。

1 3. 活動実績の推移

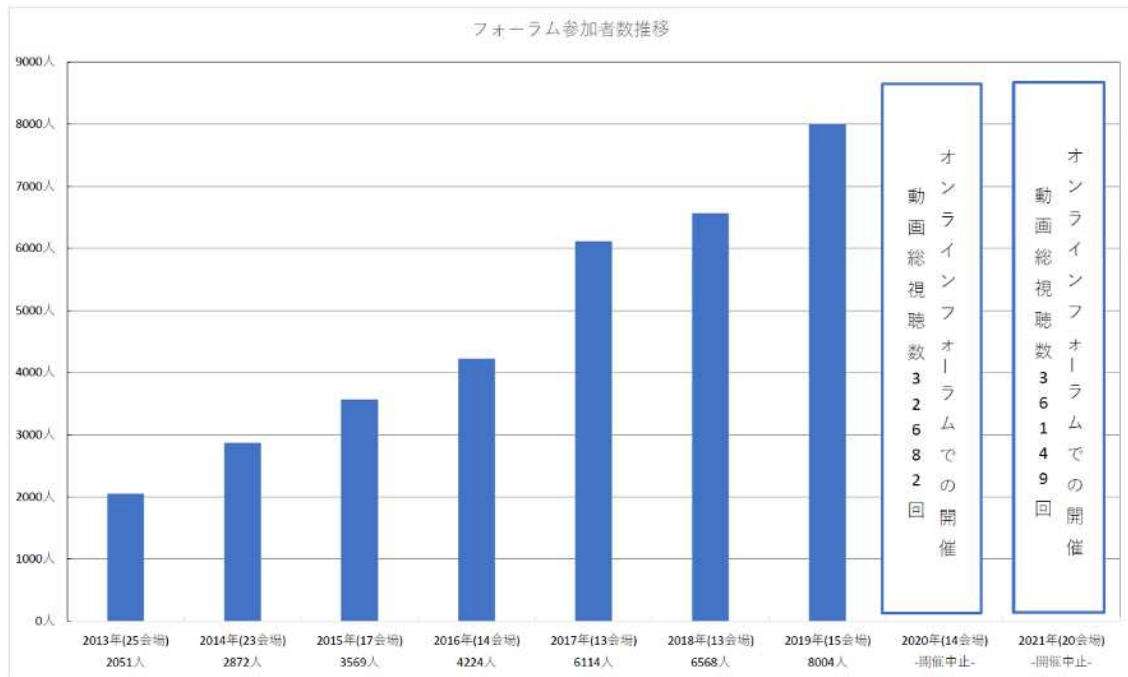
リハビリ工法 施工実績数

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
ASR リチウム工法	11 件	14 件	13 件	4 件	8 件	20 件
リハビリ カプセル工法	13 件	16 件	11 件	9 件	18 件	19 件
リハビリ シリンダー工法	54 件	70 件	62 件	82 件	99 件	95 件
プロコンガード システム(S, HP 含む)	23 件	35 件	57 件	79 件	139 件	136 件
リハビリ被覆工法	25 件	40 件	16 件	38 件	48 件	26 件
リハビリ 断面修復工法	32 件	44 件	27 件	47 件	64 件	80 件

会員数 推移



フォーラム参加者数推移



令和3年度収支決算書

自 令和3年4月 1日 至 令和4年3月31日

事業活動収入の部

科 目	3年度予算額(a)	3年度決算額(b)	対予算(b-a)	摘 要
1. 前期繰越	12,606,559	12,606,559		
2. 会費収入	19,900,000	18,551,486	▲ 1,348,514	
(1) 年会費	14,100,000	13,634,000	▲ 466,000	会員数139社
(2) 臨時会費		0	0	懇親会会費 ※新型コロナウイルスの影響で中止
(3) 入会金	1,000,000	1,100,000	100,000	新規入会11社
(4) 講習会 会費	4,800,000	3,817,486	▲ 982,514	リハビリ工法研修会 他
3. 事業収益	3,500,000	1,548,001	▲ 1,951,999	
技術資料等販売	3,500,000	1,548,001	▲ 1,951,999	配布資料販売含む
4. 雑収入	4,640,150	3,418,659	▲ 1,221,491	
(1) 受取利息	150	211	61	
(2) 実験・設計協力	1,000,000	0	▲ 1,000,000	
(3) 協賛金収入	3,500,000	3,416,637	▲ 83,363	運営協力金
(4) 雑収入	140,000	1,811	▲ 138,189	
合 計	40,646,709	36,124,705		

事業活動支出の部

科 目	3年度予算額(a)	3年度決算額(b)	対予算(a-b)	摘 要
1. 事業費	20,500,000	11,817,136	8,682,864	
(1) 技術委員会活動費	3,000,000	1,435,541	1,564,459	技術展示会、工法技術指導、諸会費(日本コンクリート診断士会、法人会)等
(2) 技術資料作成費	2,000,000	0	2,000,000	
(3) フォーラム開催費	2,000,000	3,934,752	▲ 1,934,752	新型コロナウイルスの影響でオンラインフォーラムに変更
(4) 講習会開催費	3,000,000	1,542,879	1,457,121	講師料、CPD申請料 他
(5) 試験研究費	3,000,000	2,540,814	459,186	試験費用、図面作製費 他
(6) 広告宣伝費	1,200,000	1,133,091	66,909	新聞広告、日経コンストラクション
(7) 印刷製本費	5,000,000	304,403	4,695,597	配布資料、積算資料、技術資料冊子 他
(8) 発送費	500,000	232,527	267,473	
(9) 旅費交通費	200,000	116,582	83,418	暴露試験体調査旅費交通費
(10) 接待交際費	300,000	454,547	▲ 154,547	新政治経済研究会、中国素准政治経済セミナー 他
(11) 総会費	0	0	0	新型コロナウイルスの影響で書面決議に変更
(12) 諸雑費	300,000	122,000	178,000	HP保守管理費 他
2. 管理費	2,170,000	2,366,449	▲ 196,449	
(1) 会議費	20,000	0	20,000	
(2) 顧問料	1,300,000	1,215,920	84,080	技術顧問、監査顧問
(4) 通信費	100,000	113,329	▲ 13,329	
(5) 事務用品費	100,000	200,342	▲ 100,342	封筒、印刷紙、コピー機インク 他
(6) 消耗品費	50,000	3,919	46,081	
(7) 減価償却費	100,000	237,500	▲ 137,500	フォーラム用プロジェクター
(8) 支払手数料	100,000	45,679	54,321	
(9) 新聞図書費	50,000	0	50,000	
(10) 租税公課	50,000	11,200	38,800	
(11) 雑費	300,000	538,560	▲ 238,560	
3. 法人税等支払額	3,000,000	2,097,731	902,269	
支出の部小計	25,670,000	16,281,316		
4. 予備費(次期繰越)	14,976,709	19,843,389		
合 計	40,646,709	36,124,705		

監 査 報 告 書

(期末)

監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果につき、本監査報告書を作成し、以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、代表理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度にかかる事業報告について検討いたしました。

さらに、会計記録及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度にかかる計算書類について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一、事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、会社の財産及び損益の状況すべての重要な点において適正に表示しているものを認めます。

令和 4 年 6 月 1 日

一般社団法人コンクリートメンテナンス協会

監 事

西奈美 裕輔

印

令和4年度事業計画

1. フォーラムの開催

2022年度は、「コンクリート構造物の健康寿命を延ばし、脱炭素社会を目指す」をテーマに、「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム」を全国20ヶ所で開催いたします。新型コロナウイルス対策を行いながら会場参加型のフォーラムと、オンラインフォーラムも併用して開催しています。

※ 9/14 現在、18ヶ所で開催済みです。



作成したポスター



受付での感染対策



開催状況

2. リハビリ工法施工技術者講習の開催・ライセンスの更新

昨年度は新型コロナウイルスの影響で遠隔での開催となりましたが
2022年度は会場参加型で開催となりました。リハビリ断面修復工法を
NETIS登録したことにより、今回から新たにリハビリ断面修復工の講座が
追加されました。

開催日時：令和4年5月26日（木） 10：00～17：00

令和4年5月27日（金） 9：00～16：00

※開催済み

新規ライセンス取得者： 62名



体温測定と健康セルフチェック



座学 受講風景



リハビリ断面修復工の実習



実習 受講風景

3. JCI 千葉コンクリートテクノプラザ 2022 への出展

- ・開催日：2022 年 7 月 13 日（水）～2022 年 7 月 15 日（金）
- ・場所：オンラインバーチャル会場



案内ポスター

会場内イメージ

会場内に出展ブースが配置、希望のブースを選択していただくと、ブース内へ移動します。



各ブースで設定したロゴや動画が3D空間に反映されます。

今年度の開催イメージ

4. 年次活動報告会の開催

令和4年9月14日 ホテルモントレ京都で開催

5. コンクリート技士・診断士受験指南講習会（十河塾）の開催

・コンクリート技士（主任技士）合格指南講座（広島会場）

・コンクリート診断士合格指南講座

十河顧問指導の下、講義や模試、記述式問題の添削などを行うコンクリート診断士の合格指南講座を開設しました。全6回の講習会で、今年は総勢26名が受講。

遠隔での受講や講演動画DVD配布などを併用し、新型コロナウイルスの感染防止対策を行って開催しています。

コンクリート診断士合格指南講座 2022 ～ 十河塾 ～

平素はJCMAの運営にはご理解を頂き有難う御座います。
さて、今回でも回目となります「コンクリート診断士合格指南講座 十河塾」を開催いたします。この資格の取得は個人の知識と技術者としての社会的認知度の向上になりますが、所属企業にとりましても地位の向上につながります。
この講座を受講すれば合格するものではありません。かなりの時間と努力が必要です。ゆえに、合格の意味は高いものとなります。今回も合格する意欲が高い人を対象とし、合格率100%を目指して開講いたします。下記の通り開催いたしますので、やる気のある方はお申し込みください。

※土木学会 CPD 申請中
受講参加の場合は受講により得られた所見（100字以上）を事務局にお送りください。確認後 CPD 受講証明書を送付いたします。

記

受講費用：50,000 円（テキストを含みます）

講習場所：コンクリートメンテナンス協会 会議室

（広島県広島市中区東千田町 2-3-26 福徳ビル 3F）

現地参加とオンライン参加。どちらでも可能です。

※現地参加の場合は新型コロナウイルス感染防止により開講の開催を控えてご留意してあります。
また、出席の際はマスクの着用をお願いします。

※オンライン参加の方には随時口頭でメールをお送りします。

メールを受取後、必要に応じてオンライン受講に参加が可能です。

（オンライン受講の場合は受講内容がリアルタイムで映し出され、質問等も可能です。）

（オンライン受講の際は Zoom を使用いたします。）

※講座をご受講された方には後日講座で使用する資料や動画を送ります。

電話番号：082-541-0133

申込み方法：受講申し込みは 2022 年 2 月 11 日（金）まで下記までメールをお願いします。

「コンクリートメンテナンス協会 合格指南講座 係（all@j-cma.jp）」

開催案内



遠隔での開催状況



会場での開催状況

6. ホームページの充実

フォーラムに関する情報や実施レポート、各種プレスリリースの内容などを頻繁に掲載・更新します。

HPに設けた会員専用ページの内容充実に努めます。

7. 諸官庁・コンサルタントへのPR

各官公庁やコンサルタントにコンクリート構造物のフォーラムの案内や技術的支援、リハビリ工法の現場見学会を積極的に行うことで補修・補強工事の品質向上に努めます。

令和4年度予算書(案)

自 令和4年4月 1日 至 令和5年3月31日

事業活動収入の部

科 目	4年度予算額(a)	前年度実績(b)	差額(a-b)	摘 要
1. 前期繰越	19,843,389	12,606,559		
2. 会費収入	19,900,000	18,551,486	1,348,514	
(1) 年会費	14,900,000	13,634,000	1,266,000	既存139社+新規10社 ×@¥100,000-
(2) 臨時会費		0	0	懇親会会費 ※新型コロナウイルスの影響で中止
(3) 入会金	1,000,000	1,100,000	▲ 100,000	新規10社×@¥100,000-
(4) 講習会 会費	4,000,000	3,817,486	182,514	リハビリ工法研修会 他
3. 事業収益	1,600,000	1,548,001	51,999	
技術資料等販売	1,600,000	1,548,001	51,999	- 販売書籍 - コンクリート構造物を対象とした亜硝酸リチウムによる 補修の設計・施工指針(案) 第2版 小規模橋梁の簡易点検要領 ver2.0
4. 雑収入	4,100,250	3,418,659	681,591	
(1) 受取利息	250	211	39	
(2) 実験・設計協力	500,000	0	500,000	浸透確認試験、含侵方法検討委託
(3) 協賛金収入	3,500,000	3,416,637		運営協力金・フォーラム協賛金 他
(4) 雑収入	100,000	1,811	98,189	
合 計	45,443,639	36,124,705	9,318,934	

事業活動支出の部

科 目	4年度予算額(a)	前年度実績(b)	差額(a-b)	摘 要
1. 事業費	21,600,000	11,817,136	9,782,864	
(1) 技術委員会活動費	2,000,000	1,435,541	564,459	技術展示、工法技術指導、軍艦島年間測定業務、 諸会費(日本コンクリート診断士会、法人会)
(2) 技術資料作成費	1,000,000	0	1,000,000	大学研究寄付金
(3) フォーラム開催費	7,000,000	3,934,752	3,065,248	2022年度は会場参加型・オンライン配 信の併用で開催
(4) 講習会開催費	2,000,000	1,542,879	457,121	講師料、CPD申請料 他
(5) 試験研究費	2,800,000	2,540,814	259,186	試験費用、図面作製費 他
(6) 広告宣伝費	1,200,000	1,133,091	66,909	新聞広告、日経コンストラクション
(7) 印刷製本費	4,000,000	304,403	3,695,597	配布資料、積算資料、技術資料冊 子 他
(8) 発送費	500,000	232,527	267,473	
(9) 旅費交通費	200,000	116,582	83,418	
(10) 接待交際費	450,000	454,547	▲ 4,547	新政治経済研究会、中国素准政治経 済セミナー 他
(11) 総会費	300,000	0	300,000	
(12) 諸雑費	150,000	122,000	28,000	HP保守管理費 他
2. 管理費	2,580,000	2,366,449	213,551	
(1) 会議費	20,000	0	20,000	
(2) 顧問料	1,300,000	1,215,920	84,080	技術顧問、監査顧問
(4) 通信費	120,000	113,329	6,671	
(5) 事務用品費	210,000	200,342	9,658	
(6) 消耗品費	10,000	3,919	6,081	
(7) 減価償却費	200,000	237,500	▲ 37,500	
(8) 支払手数料	60,000	45,679	14,321	
(9) 新聞図書費	30,000	0		
(10) 租税公課	30,000	11,200	18,800	
(11) 雑費	600,000	538,560	61,440	
3. 法人税等支払額	1,300,000	2,097,731	▲ 797,731	
支出の部小計	25,480,000	16,281,316		
4. 予備費(次期繰越)	19,963,639	19,843,389	120,250	
合 計	45,443,639	36,124,705	9,318,934	

添付資料・活動記事

講演動画のネット配信を開始

コンクリート
メンテナンス協会

「コンクリート構造物の補修・補強に関するフ

メイン講師である十河茂幸氏（近未来コンクリート研究会）の「小規模橋梁を対象とした点検要領とその事例」「亜硝酸リチウムによる補修の設計・施工指針（案）の解説」、江良和徳技術委員長（極東興和）の「維持管理シナリオを考慮した補修工法選定の考え方」「亜硝酸リチウムを用いたコンクリート補修」な

一部の動画はすでに視聴可能となっており、その他の動画についても今月、8月末にかけて順次

配信予定。2022年3月31日まで公開する。動画や公開予定は、協会HPから確認できる。

今年のフォーラムの副題は、「事例にみるコンクリート構造物の健康寿命の延ばし方」だった。同協会は、「維持管理業務に携わる技術者の皆様の光明になる内容を提供できるよう努める」としている。

The Society with Concrete

第28回生コンセミナー

JISにない「品質」
いかに確保するか

十河茂幸氏が基調講演

[illegible]

合会技芸賞」が、産
業の立場から、それれ
が7月9日の三日間
「開館時間」がない
展覧内容の開覧は、
大抵は時間可能だ、
大会後、明日6日
展覧動向の意見、
内容等に関する意見
問は、生コゼミナ開
館後からチャットで
受けける。
テクノノゾはこれ

テクノプラザがパワーアップ

気軽に歩ける仮想空間に

とを旨指す。
2時間のライブ配信
コンクリートとなってい
る。
(会期中の見逃し配信あ

JCI名古屋大会の各
行事ではオンライン開催
に伴う様々な制約がみら
れる。

うなものとなって
いる(コンクリー
トテクノプラザ部
では会場に行くこと



バーチャル会場のイメージ

リアルティ技術と3D技術により、「まさに会場内を実際に歩き回るような展示を見ることが出来る。展示内容も、バーチャルだからこぎえる。出展者とコミュニケーションできる。具体的に、プラザのようにその場で出展者とコミュニケーションをとっていたなほらう」（中村部長）

インターネット上の仮想空間に展示会場を設けている。最新のバーチャル



る。当然ながら展示をみるだけでなく、従来のテクノ

「団体」が出現。フ
ーシャル会
・大、中、小があ
になった。「従来の

れるなか、ある意味で「パワーアップ」したといえるのがコンクリート

場のイメージ：
会長・中村光古
屋山大学大学院教
授。

技術紹介セッションは
オンデマンド形式とな

JCI名古屋大会の各
行事ではオンライン開催
に伴う様々な制約がみら
れる。



また、会場は、大規模な
展示技術に触れること
が難しくなっている。

「コンクリート、自分の都合に合わせた
テクノロジー」

「展示技術に触れること
が難しくなっている。」

九建日報

発行所

株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19

電話 代表092(431)5361 番

FAX 092(431)7613 番

購読料1ヵ月7,020円

北九州支局 TEL.093(921)5011
 長崎支局 TEL.095(827)5595
 熊本支局 TEL.096(273)8708
 大分支局 TEL.097(594)0518
 宮崎支局 TEL.0985(24)6688
 鹿児島支局 TEL.099(259)3426
<http://www.kyukennippou.co.jp>

講演動画の配信開始

コンクリートメンテ協会
 講演動画の配信開始
 構造物健康寿命延ばし方

（一社）コンクリートメンテナンス協会（徳納剛会長）は、「事例にみるコンクリート構造物の健康寿命の延ばし方」をテーマにした講演動画の配信を開始した。参加費は無料で、土木学会と（一社）建設コンサルタツ協会のCPDが取得可能。

補修・補強事例を多く交え、予防保全と事後保全の双方の観点に立ち、経済性を考慮したコンクリート構造物の健康寿命を延ばすための維持管理の考え方や最新の調査診断技術、適切な維持管理技術を紹介する内容となっている。

現在公開中の講演動画

は、近未来コンクリート研究会の十河茂幸代表による「小規模橋梁を対象とした点検要領とその事例」と「亜硝酸リチウムによる補修の設計・施工指針（案）」の解説。

同協会の江良和徳技術委員長による「維持管理シナリオを考慮した補修工法選定の考え方」予「亜硝酸リチウムを用いたコンクリート補修一問一答」設計編、「同施工編」は近日公開の予定。いずれも動画時間は60分でCPD10133番。

単位。

今後、7月30日と8月30日に学識経験者つによる複数の講演動画が追加公開される予定。動画配信は、令和4年3月31日まで。

配信動画およびテキストの「コンクリート構造物の維持管理」「コンクリート構造物を対象とした亜硝酸リチウムによる補修の設計・施工指針（案）」、「小規模橋梁の簡易点検要領（案）」の購入は、同協会HP。

問い合わせは、同協会（電話082-5541-0133番）。

特集2 / コンクリートを補修する改質材

〈工事事例〉

亜硝酸リチウム内部圧入による コンクリート構造物のASR補修工事

極東興和(株)

■ 工事概要

工事名称：某道路橋補修工事（一般国道）
 所在地：四国地方
 施工部位：道路橋下部工（橋台）
 施工面積：約150㎡

■ 工事詳細

対象構造物は市街地平野部に位置する交通量の多い一般国道の道路橋である。

A1、A2橋台の躯体前面に亀甲状のひび割れが多数発生しており、走査電子顕微鏡（SEM）および偏光顕微鏡観察の結果により、劣化機構はアルカリシリカ反応（以下、ASR）と診断された。最大ひび割れ幅は6.0mm、平均ひび割れ密度は5.5cm程度であり、ひび割れの一部からは白色のゲルの析出および漏水跡も認められた。橋台の劣化状況を写真1に示す。

■ 工法採用の経緯

本橋台の劣化機構はASRであり、その劣化過程は加速期に相当する。橋台前面の漏水跡は背面側からの水分浸透を示すものであり、その水分を遮断することは構造条件的に困難である。また、残存膨張量試験の結果、ASR膨張性は依然として高く、将来的にも有害な膨張がさらに進展すると判断された。

本橋台のASR補修工法として、一般的な外部分からの水分侵入の抑制を目的とした表面保護工



写真1 ASRによる橋台の劣化状況

法とひび割れ注入工法を適用した場合、水分侵入抑制効果が十分に発揮されず、早期に劣化を生じるリスクが高いと判断される。そこで、本橋台の補修工法として要求性能をアルカリシリカゲルの非膨張化とし、将来的なASR膨張を根本的に抑制して劣化リスクを低減することとした。この要求性能に合致する補修工法として、亜硝酸リチウム内部圧入工法が採用された。

同工法は、コンクリートに小径の圧入孔を削孔し、そこからASR膨張抑制剤として亜硝酸リチウムを0.5～1.5MPaの圧力で内部圧入する工法である。

本工法によって、コンクリート中のすべての反応性骨材に亜硝酸リチウムが供給され、生成しているアルカリシリカゲルが非膨張化されるため、以後のASR膨張を根本的に収束させることができる。亜硝酸リチウム内部圧入工法の概念図を図に示す。

2021 防水ジャーナル 7 No.596



特集1 『建築保全標準』の概要と解説

特集2 いま使ってみたい施工機械と道具

講演動画を配信
建造物の延命テーマ

コンクリートメンテ協

コンクリートメンテナンス協会は、このほど、開催中止となった「コンクリート建造物の補修・補強に関するフォーラム2021」事例にみるコンクリート建造物の健康寿命の延ばし方」の講演動画の配信を開始した。期間は22年3月31日まで。

同フォーラムでは、予防保全と事後保全の双方の観点に立ち、経済性を考慮してコンクリート建造物の健康寿命を延ばすための維持管理の考え方、最新の調査診断技術と適切な維持管理技術について、事例を多く交えて紹介する。

主な演題は、▽小規模橋梁を対象とした点検要領とその事例・十河茂幸(近未来コンクリート研究会)▽維持管理シナリ

オを考慮した補修工法選定の考え方ー予防保全と事後保全・江良和徳(コンクリートメンテナン協会)▽予防保全によるコンクリート建造物の健康寿命の延長・竹田宣典(広島工業大学)▽歴史的建造物の保存・修復ー鉄筋コンクリート造の現状と課題・濱崎仁(芝浦工業大学)など。

コンクリートメンテ協

フォーラム動画を30日に大量更新
全視聴でCPD 25単位

「コンクリート建造物の補修・補強に関するフォーラム」の開催中止を受け、講演動画の配信を行って、コンクリートメンテナン協会徳納剛会長は、写真が京都大学の宮川

について。

「まずは、対話を大切に、業を、県へは急傾斜地崩壊対策事業を促進して欲

へは西部山系直轄砂防事業を、県へは急傾斜地崩壊対策事業を促進して欲



30日から配信開始する動画は、宮川教授のほか、大阪大学の鎌田敏郎教授による見えないものは非破壊で診る、芝浦工業大学の濱崎仁教授による歴史的建造物の保存・修復

残り4本の動画は、9月30日に配信予定。2022年3月31日まで公開する。

このほか、発注金額が多かった上位3事務所は、山口河川国道事務所38億5951万5000円、23件、広島国道事務所(35億4860万円、24件、浜田河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。

河川国道事務所(30億4000万円、19件)だった。